

縞鋼板および熱延鋼板の総合加工販売業、関根床用鋼板（千葉県浦安市港、社長・関根保彦氏）は、恒例の納涼懇親会「関根サマーパーティ」を9日夕に開催。写真。全社員のほかメーカー、商社はじめ取引先ら関係者多数が参集した。

創業者・故関根薰三郎氏が1986（昭61）年8月17日に死去（享年74歳）したことを見み、同社では毎年、夏休み直前のこの時期に全社員が集い、創業者の命日を偲ぶ。

関根床用鋼板

併せて日々の商売や顧客・取引先あるいは仲間同士に「感謝」を込めて暑気払い懇親会を行うのが、毎夏恒例の社内行事となっている。

本社工場構内的一角で、生ビールを片手に手慣れた従業

員が腕を振るうバーベキュー料理に舌鼓を打ちつつ、気取らず着飾らず、実にアットホームな雰囲気の中で出席者同士親睦を深めた。



関根社長「すべてに“感謝”」

中締めで関根社長は「いまのセキネ（会社）が存在するのは創業者とそれを支えた先輩社員のおかげ。そしてこれまで存続できたのは、お客様や取引先のおかげ。加えて従業員諸君らの頑張りがあってのこと。きょうはすべてに『感謝』であり、メーカーさんや商社さんにはこれからもセキネを御愛顧いただきたいし、社員には今後もセキネを支えてほしい」と呼び掛けた。